

Remodernologio phase 3

Aomori City Archive Exhibit: YAMAGUCHI Seion 'Yama no uta' (Mountain Song)

再考現学 phase3: 痕跡の風景

再考現学考一青森市所蔵作品小展示

山口晴温 「山のうた」

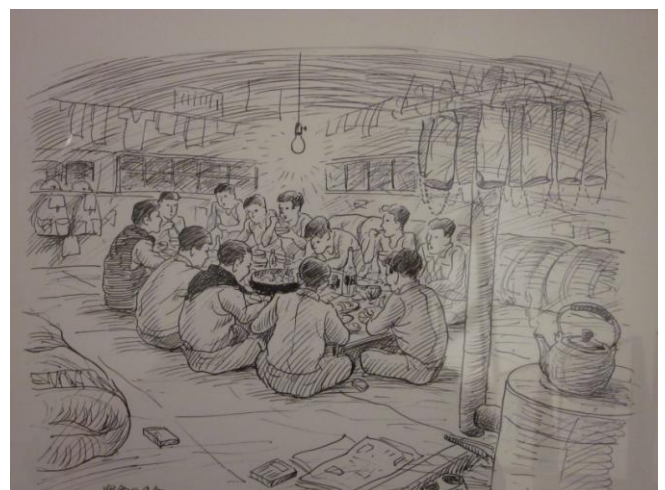


会期 2012年1月14日(土)～2月5日(日) 午前10時～午後5時

会場 青森公立大学国際芸術センター青森 展示棟・ギャラリーA (一部)

主催 青森公立大学国際芸術センター青森

協力 青森市教育委員会



山口晴温《山のうた》より

山口晴温は、昭和33年から当時の青森営林局局報「青森林友」の表紙絵を担当し、以来10年にわたり県内の国有林事業所を丹念に取材し、造林育成から木材生産、治山、土木事業など山で働く人々の姿を描いており、その集大成である画集「山のうた—森林作業の記録—」(東奥日報社刊行)は、当時の森林作業の貴重な記録にもなっています。その丁寧な記録、視点の在りようには、考現学的態度すら感じさせます。本展では、青森市に寄贈されたこの画集の原画および版画から28点を展示します。

山口晴温 (やまぐち・せいおん、1926-2008)

青森市生まれ。日本板画院同人。わらべ遊び、郷土芸能、風俗などをテーマとして版画を制作。そのほか新美南吉『ランプと胡弓ひき』、鈴木喜代春『十三湖のばば』『けがづの子』をはじめ、多くの児童文学作品の表紙絵・挿絵を描く。

【お問い合わせ】 青森公立大学 国際芸術センター青森

〒030-0134 青森市合子沢山崎 152-6

TEL: 017-764-5200 FAX: 017-764-5201 acac-1@acac-aomori.jp

【アクセス】

青森市営バスまたはJRバス青森にて約40分「モヤヒルズ、青森公立大学行き」乗車、「青森公立大学」下車。市内から国道103号線をモヤヒルズ方面へ南下。青森公立大学の北側(海側)となりの森の中にあります。